

# ふるさと 資料紹介

＝(75)＝

に決し、明治三〇年、ここに「三和村」が発しました。

「三和村」の名称は、三村の融和を願って名付けられたとのことです。

◀明治四三年四月、三村合併に伴う小学校統合によって、川浦に落成した三和小学校新校舎



史料と地名からみた

地区の歴史30

## 三和(四)

明治になると、いくつかの村々が集まって連合村を作るようになりしました。同様に、現三和地区の村々でも合併の機運が高まりました。

そこで明治一七年には、川浦村・廿屋村・鹿塩村の合同役場である「川浦村外二ヶ村戸長役場」が発足しました。さらに国や県は、これを一つの村に合併するよう勧めましたが、さまざま事情から、川浦村と廿屋村は伊深へ、鹿塩村は川辺へ合併することを希望しました。

しかし最終的には、三村合併

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成九年八月分)

○大天秤など五点

(飯田英敏さん／本郷町)

○明治期の教科書、化石など

(朝日 明さん／三和町)

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内／内四〇八)まで情報をお寄せください。